

IGSセミナー／上野千鶴子先生大学院特別講義
ドキュメンタリー映画
『何を怖れる』上映会

Teruko Inoue Kimiko Tanaka
Chizuko Ueno Mitsu Tanaka
Kimi Komashyaku Toyoko Nakanishi
Keiko Higuchi Tomoko Yonezu
Suzuyo Takasato Noriko Takiishi Youko Sakurai
Mikiko Kanou Masumi Takahashi Eriko Ikeda

何を怖れる
フェミニズムを生きた女たち

企画●田中喜美子 監督●松井久子 制作●「フェミニズムを生きた女たち」をつくる会
協力●認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク
制作著作●(株)エッセン・コミュニケーションズ 上映時間●111分

女たちの証言でつづる
ドキュメンタリー映画

出演者●池田恵理子、井上輝子、上野千鶴子、加納実紀代、駒尺喜美、桜井陽子、高里鈴代、高橋ますみ、滝石典子、中西豊子、田中喜美子、田中美津、樋口恵子、米津知子

*上映後、上野千鶴子先生のトークがあります

*参加費無料、託児サービスあり(要申込)

*要事前申込：<http://www.igs.ocha.ac.jp/> からお申込みください

2015年12月4日(金) 13:30～16:00
お茶の水女子大学共通講義棟2号館201号室

「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の

松井久子監督作品

何を怖れる

フェミニズムを生きた女たち

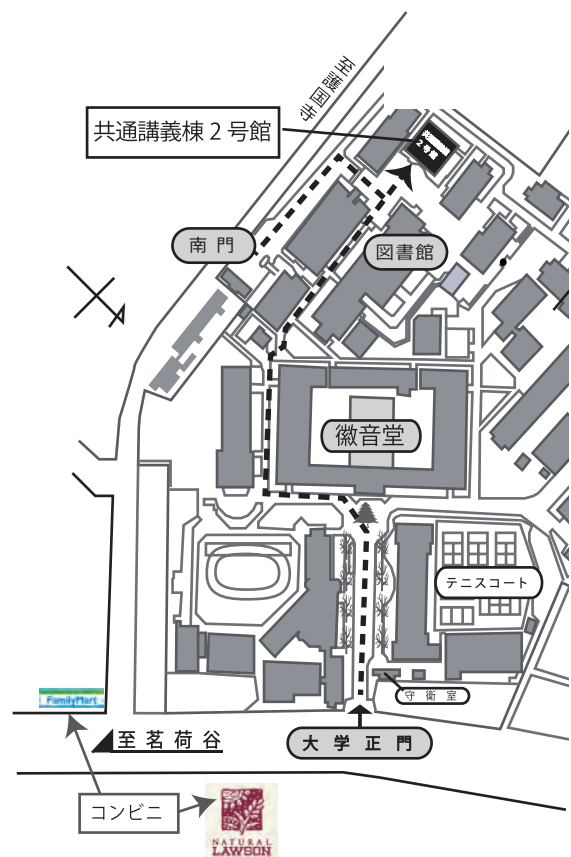
70年代初頭にウーマンリブが始まった頃
彼女たちはまだ20代、30代だった
おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた
その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく
つよい意思をもって生きてきた
男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても
すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら
つねに女たちと共感し、女たちとつながって
老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している
そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？
次の世代に何を伝えようとしているか？
「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が
フェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画

闘った、生きた、老いた…
彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。

松井久子
Hisako Matsui
映画監督 / プロデューサー



出演●池田恵理子、井上輝子、上野千鶴子、加納実紀代、胸尺喜美、桜井陽子、高里鈴代、高橋ますみ、滝石典子、田中喜美子、田中美津、中西豊子、樋口恵子、米津知子



東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅下車徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅下車徒歩8分
都営バス - 都02乙「大塚二丁目」下車徒歩1分

主催：お茶の水女子大学ジェンダー研究所
e-mail: igsoffice@cc.ocha.ac.jp
Tel. 03-5978-5846